

日産財団ニュースレター (第18号)

2015年12月発行



日産財団では、理科教育助成対象校の1年目の活動状況を把握するため学校訪問を実施しています。それぞれの学校の実践内容を、日産財団ニュースレターで紹介していきます。18号と19号では、11月に訪問した助成校の活動の紹介します。

神奈川県 座間市立 相武台東小学校



5年生の理科「ふりこの動き」で、振り子が1往復する時間を変化させる要因を子どもたちに考えさせる目的で、あえて今回は条件制御を行わないままで各グループに実験を行わせ、往復の時間変化の要因を探るという校内研究授業。

福岡県 みやま市立 清水小学校



筑後地区小学校理科教育研究大会 みやま・柳川大会の会場校として、1年生から6年生までで生活科・理科の公開授業を実施。生活科では手づくりおもちゃを改良しながら友だちと遊んだり、園児を招待する計画を話し合った。理科は子どもたちが考えを整理できるように、どの学年も、めあて、見通し、結果、考察、まとめがひと目でわかるような板書の工夫がされていた。

神奈川県 平塚市立 中学校教育研究会技術科部会



第16回全国中学生創造ものづくり教育フェアinかながわに、研究会に所属する金旭中と土沢中が創造アイデアロボット、中原中と春日野中が木工チャレンジコンテストに挑戦。ロボットコンテストは、残念ながら予選で敗退したものの、木工チャレンジコンテストは中原中の3年生の男子生徒が優勝、全国大会の予選出場権を獲得。

福島県 いわき市立 田人小学校



第6学年「水溶液の性質とはたらき」の単元で、めあて「リマス紙を使って水溶液をなにかま分けしよう」と第3学年「物の重さをくらべよう」の単元で、めあて「塩と砂糖が同じ体積で重さはちがうのかな」の校内研究授業、仮説、実験、結果発表、交流、まとめと進んだが、両学年とも大多数の仮説とは異なる結果となったが実験は楽しそうに行っていた。

福岡県 北九州市立 東朽網小学校



第3学年を対象とした「ゴムや風でものをうごかさう」の単元の校内授業研究会。本時のめあては「帆を工夫して、より遠くまで進む車を考えよう」で、グループで帆の形や大きさ、枚数を変えて、廊下で送風機の風を帆の付いた車に当てて、走行距離を比較し、グループ別の結果を発表、交流し、最後に虫食い部分を埋めてまとめを行った。子どもたちが夢中になって、走行実験を繰り返しながら、自分の意見もしっかり発表していた。

福岡県 北九州市立 企救中学校



マスター教員公開授業、学力向上推進担当者研修などを兼ねた公開授業研究会で、第3学年を対象とした地球と宇宙の単元。めあては「太陽系にはどのような天体があるだろうか」で、太陽系の惑星8個と太陽の9つの写真と、公転周期・平均速度、質量・平均密度のデータ及び大気成分と表面温度の資料から惑星8個の名前をグループで当てる惑星ゲームの授業。ゲーム感覚で生徒は参加し、グループメンバーが計算や解説を分担。